

表 11: 実験 A 各条件における誘導方向別ヒストグラムの Bhattacharyya 距離

実験条件	Bhattacharyya 距離 ↑
背景色：white	0.1589
背景色：gray	0.1055
背景色：black	0.0089
擬似個体サイズ：large	0.1616
擬似個体サイズ：medium	0.0595
擬似個体サイズ：small	0.0070

背景色を変えた実験の場合，white と gray の個体分布は，誘導方向に向かって偏りを生じさせていることが読み取れる．一方 black の個体分布は誘導方向に対する偏りがあまり見られない．

擬似個体サイズを変えた実験では，large のときに高い頻度で誘導方向への偏りが存在している．medium では誘導方向への偏りが生まれる場合もあるが，その一方でほとんど偏りが見られない場合もある．small での実験の分布は，ほかの 2 つのサイズの実験と比べて，目だった偏りは見られない．